



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
コード番号 7826 URL <https://www.furuyametals.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 尾高 尚徳 TEL 03-5977-3377
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	21,124	△13.0	4,553	△39.4	4,305	△42.2	2,985	△40.3
2023年6月期第2四半期	24,270	15.0	7,507	△6.4	7,455	△7.2	5,002	4.2

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 2,987百万円 (△40.2%) 2023年6月期第2四半期 4,995百万円 (4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	418.08	416.40
2023年6月期第2四半期	716.73	713.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	103,730	56,059	53.8
2023年6月期	87,534	44,369	50.4

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 55,830百万円 2023年6月期 44,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	255.00	255.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	256.00	256.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,600	11.4	10,200	△11.2	10,900	△12.0	7,600	△19.2	1,064.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	8,463,212株	2023年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	278,749株	2023年6月期	283,503株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	7,141,732株	2023年6月期2Q	6,979,245株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長引くロシア・ウクライナ戦争に加え、中東での紛争勃発など、新たな地政学リスクが生まれるとともに、先進国を中心に長期化する高インフレと金融引き締めの影響から経済成長の停滞が続いている状況にあります。当社が関連する情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場につきましても短期的な景況感が後退しておりますが、デジタル社会の進展やグリーン社会への転換を背景に中期的な成長が見込まれております。なお、ドル円為替相場は、年末にかけて米国での利下げや日銀による政策修正の観測が広がったことから、年初から急速に進んだ円安の流れに変化が生じました。また、当社が取り扱う主要貴金属価格につきましても依然高い水準で推移しており、売上、利益に影響しております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間において、売上高21,124百万円（前年同四半期比13.0%減）、売上総利益6,615百万円（前年同四半期比27.1%減）、営業利益4,553百万円（前年同四半期比39.4%減）、経常利益4,305百万円（前年同四半期比42.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,985百万円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

海外の医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）に使用される単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注は堅調に推移しましたが、スマートフォン市場の低迷を受けて、SAWデバイス用のリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が低迷し、売上高3,055百万円（前年同四半期比31.4%減）、売上総利益1,273百万円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

[薄膜]

データセンター向けHDD（ハードディスクドライブ）の塗布材料であるスパッタリングターゲットは顧客の在庫調整局面にも底打ち感が見えておりますが、受注回復の足取りは依然重く、売上高4,068百万円（前年同四半期比21.5%減）、売上総利益1,775百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

[サーマル]

材料となる貴金属価格が下落しましたが、半導体装置メーカーや海外半導体メーカーから受注が堅調に推移するとともに、高付加価値品へのシフトを進めてきたことから、売上高3,109百万円（前年同四半期比2.0%減）、売上総利益1,299百万円（前年同四半期比24.0%増）となりました。

[ケミカル]

電極向け貴金属化合物が弱含みに推移いたしました。有機EL向け化合物、化学プラント向け化合物については顧客の在庫調整局面が続いており、売上高6,764百万円（前年同四半期比34.6%減）、売上総利益1,986百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

[その他]

当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の需要は底堅く、販売が増加したことにより、売上高4,127百万円（前年同四半期比3,005百万円増）、売上総利益279百万円（前年同四半期比265百万円増）となりました。

②海外売上

当第2四半期連結累計期間における海外売上高は10,234百万円（総売上高に占める割合は48.4%）となりました。地域別には、アジア向け売上高5,205百万円（海外売上高に占める割合は50.9%）、北米向け売上高3,234百万円（海外売上高に占める割合31.6%）、欧州向け売上高1,794百万円（海外売上高に占める割合は17.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は103,730百万円（前連結会計年度末比16,195百万円の増加）、総負債は47,670百万円（前連結会計年度末比4,505百万円の増加）、純資産は56,059百万円（前連結会計年度末比11,689百万円の増加）となりました。

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は83,335百万円となり、前連結会計年度末比16,166百万円増加しました。これは株式の発行による収入10,396百万円により現金及び預金が10,876百万円増加し、原材料及び貯蔵品が4,430百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は20,394百万円となり、前連結会計年度末比28百万円増加しました。これは建設仮勘定が463百万円減少いたしました。ソフトウェア仮勘定が402百万円増加したことが

主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は39,165百万円となり、前連結会計年度末比3,383百万円増加しました。これは短期借入金が3,000百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は8,505百万円となり、前連結会計年度末比1,122百万円増加しました。これは長期借入金が1,135百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は56,059百万円となり、前連結会計年度末比11,689百万円増加しました。これは資本金が5,217百万円、資本剰余金が5,242百万円、利益剰余金が1,205百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年8月8日付「2023年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,116	13,992
売掛金	4,741	4,234
受取手形	151	176
商品及び製品	3,014	4,950
仕掛品	4,186	4,113
原材料及び貯蔵品	48,860	53,291
未収消費税等	2,041	2,031
デリバティブ債権	851	92
その他	204	451
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	67,168	83,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,145	4,137
機械装置及び運搬具 (純額)	9,182	9,412
土地	1,727	1,727
リース資産 (純額)	813	691
建設仮勘定	988	524
その他 (純額)	169	166
有形固定資産合計	17,025	16,660
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	1,118	1,521
その他	52	65
無形固定資産合計	1,171	1,586
投資その他の資産		
投資有価証券	20	18
繰延税金資産	1,866	1,846
その他	282	285
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,168	2,148
固定資産合計	20,366	20,394
資産合計	87,534	103,730

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,927	13,631
未払金	2,334	3,528
短期借入金	12,700	15,700
1年内返済予定の長期借入金	3,166	3,724
未払法人税等	1,330	1,444
賞与引当金	396	480
役員賞与引当金	154	—
設備関係未払金	248	67
リース債務	121	130
その他	401	459
流動負債合計	35,782	39,165
固定負債		
長期借入金	5,622	6,758
退職給付に係る負債	843	871
資産除去債務	26	26
長期未払金	401	401
リース債務	465	427
その他	22	19
固定負債合計	7,382	8,505
負債合計	43,164	47,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	10,662
資本剰余金	7,070	12,313
利益剰余金	32,895	34,101
自己株式	△1,345	△1,323
株主資本合計	44,066	55,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	1
為替換算調整勘定	84	79
退職給付に係る調整累計額	△18	△4
その他の包括利益累計額合計	68	76
新株予約権	83	83
非支配株主持分	151	146
純資産合計	44,369	56,059
負債純資産合計	87,534	103,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	24,270	21,124
売上原価	15,195	14,509
売上総利益	9,074	6,615
販売費及び一般管理費	1,566	2,061
営業利益	7,507	4,553
営業外収益		
受取家賃	6	7
為替差益	1,335	960
その他	4	4
営業外収益合計	1,346	972
営業外費用		
支払利息	173	414
デリバティブ評価損	1,221	759
その他	4	46
営業外費用合計	1,399	1,220
経常利益	7,455	4,305
税金等調整前四半期純利益	7,455	4,305
法人税、住民税及び事業税	2,524	1,312
法人税等調整額	△65	13
法人税等合計	2,458	1,325
四半期純利益	4,996	2,980
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,002	2,985

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,996	2,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△2
為替換算調整勘定	△2	△4
退職給付に係る調整額	3	13
その他の包括利益合計	△0	7
四半期包括利益	4,995	2,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,001	2,993
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,455	4,305
減価償却費	376	574
支払利息	173	414
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
為替差損益 (△は益)	△16	△9
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,221	759
売上債権の増減額 (△は増加)	1,256	481
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,530	△6,294
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,446	△1,296
未収消費税等の増減額 (△は増加)	10	9
未払金の増減額 (△は減少)	△292	1,178
棚卸資産から固定資産への振替	△138	△1,325
固定資産から棚卸資産への振替	1,267	1,443
その他	△289	△60
小計	47	181
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△172	△415
法人税等の支払額	△2,327	△1,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,451	△1,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△266	△421
有形固定資産の取得による支出	△726	△484
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△995	△908
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,500	3,000
長期借入れによる収入	1,900	3,300
長期借入金の返済による支出	△1,314	△1,607
株式の発行による収入	—	10,396
配当金の支払額	△1,770	△1,773
リース債務の返済による支出	△16	△66
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,297	13,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△136	10,876
現金及び現金同等物の期首残高	3,857	3,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,721	13,990

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年11月16日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において公募による新株式発行（一般募集）及び第三者割当による新株式発行（オーバーアロットメントによる売出）を行いました。このため2023年12月5日を払込期日とする公募による1,044,000株の新株式（普通株式）発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,546百万円増加いたしました。また、2023年12月26日を払込期日とする第三者割当による154,000株の新株式（普通株式）の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ670百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が10,662百万円、資本剰余金が12,313百万円となっております。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直しし、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第2四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が59百万円増加し、「機械装置及び運搬具」が99百万円増加し、「商品及び製品」が184百万円減少しております。また、「仕掛品」が243百万円増加し、「建設仮勘定」が218百万円減少しております。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	△20	168	△184
原材料及び貯蔵品	953	1,162	59
仕掛品	197	353	243
機械装置及び運搬具	△994	△1,055	99
建設仮勘定	△135	△628	△218

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	2,235	1,407	2,156	4,710	10,509	812	11,322
アジア (日本以外)	80	2,580	900	332	3,893	156	4,050
欧州	—	120	27	4,166	4,314	151	4,466
北米	2,139	1,074	89	1,127	4,430	—	4,430
顧客との契約から生じる収益	4,455	5,181	3,174	10,336	23,148	1,121	24,270
外部顧客への売上高	4,455	5,181	3,174	10,336	23,148	1,121	24,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,455	5,181	3,174	10,336	23,148	1,121	24,270
セグメント利益	1,775	2,399	1,047	3,839	9,061	13	9,074

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	972	1,001	2,254	4,650	8,878	2,012	10,890
アジア (日本以外)	44	2,245	764	35	3,090	2,115	5,205
欧州	7	167	26	1,592	1,794	—	1,794
北米	2,031	653	63	485	3,234	—	3,234
顧客との契約から生じる収益	3,055	4,068	3,109	6,764	16,997	4,127	21,124
外部顧客への売上高	3,055	4,068	3,109	6,764	16,997	4,127	21,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,055	4,068	3,109	6,764	16,997	4,127	21,124
セグメント利益	1,273	1,775	1,299	1,986	6,335	279	6,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。